

センキ目!

現在・過去・未来

21世紀の地域の未来を考える会

先の宮崎県知事選挙では『そのまんま東旋風』が吹き荒れました。いまだにマスコミはその続報を流し続けています。

彼の選挙はこれまでの固定観念を覆すような、常識の逆ばかりをそのままやったようなものでした。

出馬表明から立候補までの期間も短く、十分な準備も無い中で、雨漏りのするような事務所に、徹底して本人だけであいさつ回りをするなど、これまでの型にはまらないものでした。もちろんしっかりとした政策提示もしていました。けれども、それらはよく考えればすべて本質を突いたものであったように思います。その結果、それは多くの県民の支持を得て勝利しました。

このことは裏を返せば、これまでの選挙のやり方そのものがもはや、民意を汲み取ったものでなくなってきたことを表しているのではないのでしょうか。

住民は本質を見抜くしっかりとした「目」を持っています。選挙本来の意義と意味を今一度よく考え、そろそろこういった住民の目に気づいてもいい頃、いや、気づかなければいけない時期に来ているのではないのでしょうか。

上田かつよしを育てる会

平成13年4月、上田かつよしの初当選以来、約6年間井原市議会議員として皆様には大変お世話になりました。絶大なるご支援をいただきありがとうございます。

この度の大きな決断をしましたことにご理解を賜りますよう、よろしくお願い致します。

〒715-0019 井原市井原町680 TEL 6 2-1 9 8 2

<http://www.ibara.ne.jp/~uecans5>
e-mail:uecans5@ibara.ne.jp

共に汗して 未来への挑戦

—上田 かつよし—

私達は県民税等各種を県に支払いながらも、県庁に訪れることはめったになく、県行政や議会がどのような働きをしているのか、関心はとても低いと感じます。

それは県議会議員選挙の過去の結果からも伺えます。

ですが、子ども達を育成する「教育」や私達の安全を守る「警察」など、実は生活と密着している県行政。

地域住民の皆さんにももっと関心をもっていただき、そのあるべき姿を追求していかなければなりません。

また特に、国・県・市という三重構造の中にあって県はこれからどうあるべきか、それを私は県政の中で議論をしていきたい。ようやく道州制が広く言われるようになってきた昨今ですが、その当事者である県政の中でまさに自らの姿についてさらに議論を深めていくべきです。

その時こそ、まさにもっと地域住民の方々の関心が必要なんです。

県政に行くことは、私にとっては地域から遠くなることを意味するものではありません。

むしろ今こそ県を地域住民から近いものにしたい。ともに議論をしていきたい。

今までの県政はあまりに遠すぎた。

情報提供に努めていきたいと思っています。

今後、政策や考えについては、ホームページや「育てる会だより」等でお知らせしていくつもりです。

まずはこの選挙、大切な節目を、どうか注目していただきたいと思います。